

命の尊さを伝える本（令和5年、令和6年1月～3月）

1月のおすすめ本

○「あかちゃんのゆりかご」

レベッカ・ボンド／著、さくまゆみこ／絵 偕成社

おすすめコメント：

あかちゃんが生まれ、お家にやってくる喜びあふれるお話です。

（平塚市の図書館にあります。中央、西、南図書館）

○「かさをささないシランさん」

谷川俊太郎／著、いせひでこ／絵 理論社

おすすめコメント：

「かさをささない」それだけの違いで理不尽な状況に追い込まれるシランさん。あなたも無関心を決め込みますか？

（平塚市の図書館にあります。中央、南図書館）

2月のおすすめ本

○「心ってどこにあるのでしょうか？」

こんのひとみ／著、いもとようこ／絵 金の星社

おすすめコメント：

好きな人に会うとほっぺが真っ赤になった。心はほっぺにあるのでしょうか…。

こんのひとみ&いもとようこコンビがあたたかい文と絵でおくる絵本。

（平塚市の図書館にあります。中央、北、西、南図書館、あおぞら号）

○「あかちゃんがわらうから」

おーなり由子／著、絵 理論社

おすすめコメント：

数年前この絵本を初めて知った時、自分の子どもたちが小さかった頃の少し辛かった時もあった子育て時代を思い出しました。その時にこの絵本を手にとることがあったら勇気づけられたのでは…。今はこの絵本を小さな子どもを持つママさんにプレゼントすることもあります。

（平塚市の図書館にあります。中央、南図書館）

3月のおすすめ本

○「なぞかけどうじょう」

中川ひろたか／作、大島妙子／絵

金の星社

おすすめコメント:

「何とかけて何と解く、その心は？」江戸時代から楽しんだ日本の言葉遊び“なぞかけ”。親子や友達とクイズに挑戦してみない？一人で楽しむときはクスツとしてしまうので要注意かも!?(平塚市の図書館にあります。中央、西、南図書館、あおぞら号)

○「じごくのラーメンや」

荻田澄子／作、西村繁男／絵

教育画劇

おすすめコメント

もはや日本の食文化とされるラーメン。地獄だって天国だって、みんな大好きなんだもん。ラーメンは地獄さえも幸せにしちゃうパワーがある!(平塚市の図書館にあります。中央、南図書館、あおぞら号)

4月のおすすめ本

○「ロバのシルベスターとまほうの小石」

ウィリアム・スタイグ／著

せたていじ／訳

評論社

おすすめコメント

とぼけた表情も楽しく、風景も美しい、親子で読んでほしい心温まる絵本です♡(平塚市の図書館にあります。中央、北、西、南図書館)

○「くまさぶろう」

もりひさし／作

ユノセイイチ／絵

こぐま社

おすすめコメント

無口で優しい泥棒のおはなし。ユノさんの絵が相まってたまらなく優しい一冊です。小さなお子さんから多感な時期のお子さんにも是非オススメです!(平塚市の図書館にあります。中央、西図書館)

5月のおすすめ本

○「逆ソクラテス」

伊坂 幸太郎／著
集英社

おすすめコメント

おとなの決め付けた言い分に、萎縮していないだろうか。「自分はそう思わない」この言葉を大事に持ち続けたい。

(平塚市の図書館にあります。中央、西図書館)

○「ライオンのおやつ」

小川 系／著
ポプラ社

おすすめコメント

若くして余命を宣告された主人公。島のホスピスでは毎週日曜日、入居者がリクエストできるおやつの時間がある。食べることと生きることを描き出す感動の物語。

(平塚市の図書館にあります。あおぞら号、中央、北、西、南図書館)

6月のおすすめ本

○「いのちの食べかた」

森 達也／著
理論社

おすすめコメント

命を知る…この視点を身近な「食」を入口に人間というもの、そして人間社会の抱える問題、個人のアイデンティティと思考の波に飲まれる 1冊ではないでしょうか？

生きる為には「知る事」の大切さを、辛い時に視点を変えた世界の見え方を

(平塚市の図書館にあります。中央、南図書館)

○「ぼくにげちゃうよ」

マーガレット・ワイズ・ブラウン／作
クレメント・ハード／絵
岩田みみ／訳

おすすめコメント

どこにいても何をしていても我が子を愛する母の気持ちに心が温かくなります。うさぎのお母さんも人間のお母さんもみんな自分の子どもが大好き!

(平塚市の図書館にあります。あおぞら号、中央、北、西、南図書館)

7月のおすすめ本

○「リクエストは星の話」

岡田 淳／作・絵
偕成社

おすすめコメント

星にまつわる 4 つのストーリーで構成されていて、最後に全て繋がるファンタジー感覚で心が温まる作品です。

(平塚市の図書館にあります。中央、西図書館)

○「ちいさなヒッポ」

マーシャ・ブラウン／作・絵
内田 莉莎子／訳

おすすめコメント

かばのお母さんがちいさなヒッポに教える大切なこと。それは、忘れてしまっていたけど、悩める大人にこそ必要なことでした。

(平塚市の図書館にあります。中央、北、西、南図書館)

8月のおすすめ本

○「フェルムはまほうつかい」

スギヤマカナヨ／文・絵、畠山重篤／原作、長沼毅／監修
小学館

おすすめコメント

人間も動物も、すべての生きものは鉄(フェルム)がなくては生きていけません。「鉄のまほうつかい」が何億年も前から、この地球にかけ続けている「鉄のまほう」とは？

(平塚市の図書館にあります。中央、西、南図書館)

○「ぼく(闇は光の母 3)」

谷川俊太郎／作、合田里美／絵
岩崎書店

おすすめコメント

なにもほしくなくなって、なぜかここにいたくなくなってぼくはしんだ じぶんでしんだ。

死にたいと生きたいは裏表、編集者も死なないで欲しくて作った絵本です。絵も綺麗です。

(平塚市の図書館にあります。中央図書館)

9月のおすすめ本

○「たっちだいすき」

聞かせ屋。けいたろう／文、ひろかわさえこ／絵
アリス館

おすすめコメント

わんわんと、にゃんにゃんと、うさぎさんと…たーっち！ あたたかな絵で描かれた動物とタッチして遊んだ後は、親子でタッチ。ふれあいの温かさを感じる絵本です。
(平塚市の図書館にあります。中央図書館)

○「どうしてなくの？」

フラン・ピンタデーラ／作、アナ・センデル／絵、星野由美／訳
偕成社

おすすめコメント

男の子のマリオが小さい声で「ぼくたち どうしてなくの？」とたずねると、お母さんは「悲しいとき、怒ったとき、心が痛いとき…涙は心の痛みの塗り薬になってくれる」とやさしく語りかけます。見開きいっぱいの絵も穏やかで美しいです。
(平塚市の図書館にあります。北、西、南図書館)

10月のおすすめ本

○「ようかいオジジあらわれる」

よなはかんだ／文
山口みねやす／画
くもん出版

おすすめコメント

そうそう、時々ようかいに変身するお父さんっているよね、と懐かしかったり、まさに今ウチに出るけど、うちはお父さんじゃなくてお母さんだよ…?!と親子で一緒に絵本の時間を楽しめそうです。
(平塚市の図書館にあります。中央、西、南図書館、あおぞら号)

○「きょうは そらに まるいつき」

荒井良二／著
偕成社

おすすめコメント

様々な人や動物が、様々なところから一つのまるい月を見ている。輝く月を見て、感じ方や思うことは人も動物も様々ははず。どんなことがあった日も自分は自分のままで思い感じていいんだな、と思わせてくれます。
(平塚市の図書館にあります。中央、北、南図書館、あおぞら号)

11月のおすすめ本

○「大食いフィニギンのホネのスープ」

カンブリア・エバンズ／作

川島誠／訳

BL 出版

おすすめコメント

ガイコツなのに大食いの主人公。大食いゆえに嫌われますが、くじけず知恵を使って楽しくみんなを巻き込んでいきます。出てくるアイテムは気持ちの悪いものばかり。それが全て入った見開きいっぱいの大鍋のページは圧巻です。見ればみるほど隅々までキモ可愛い♡ハッピーハロウィンな絵本です。

(平塚市の図書館にあります。中央、西、南図書館、あおぞら号)

○「ゴリオとヒメちゃん」

アンソニー・ブラウン／さく、久山太市／やく

評論社

おすすめコメント

寂しかったゴリオくんのところにやってきたヒメちゃんとの友情物語。

2人の幸せな日々が、アンソニー・ブラウンの細かな描写で描かれ、表情一つ一つ可愛さに吸い込まれます。ゴリオくんのお部屋もステキです。

(平塚市の図書館にあります。中央、北、南図書館、あおぞら号)

12月のおすすめ本

○「クスノキの番人」

東野圭吾／著

実業之日本社

おすすめコメント

その木に祈れば、願いが叶うと言われているクスノキ。その番人を任された青年と、祈念に訪れる人々の物語。人生や歴史をみてきたクスノキに、癒しや生命力を感じます。余談ですが、「くすのき」は平塚市民の木でもあります。

(平塚市の図書館にあります。中央、北、西、南図書館)

○「植物少女」

朝比奈秋／著

朝日新聞出版

おすすめコメント

出産時の脳出血で植物状態になった母と娘の物語です。「生きるとは何か」を問う、現役の医師だからこそ描けた真摯な母娘の物語。

(平塚市の図書館にあります。中央、南図書館)

令和6年

1月のおすすめ本

○「はじめての」

島本理生、辻村深月、宮部みゆき、森絵都／著
水鈴社

おすすめコメント

はじめての物語が4話入っています。
初めてに取り組む姿はヒリヒリしてそれぞれが懸命に生きている姿を見せてくれます。
(平塚市の図書館にあります。中央、北、西、南図書館)

○「ぼくはぼく」

スーザン・ヴェルデ／文
ピーター・レイノルズ／絵
島津やよい／訳
新評論

おすすめコメント

みんなとおなじじゃないことは、とっても素敵なこと!ありのままのじぶんを好きになれる本。
大人向けの”じぶんをほめたたえるエクササイズ“ガイド付き!
(平塚市の図書館にあります。中央図書館)

2月のおすすめ本

○「小公女」

F.E.バーネット／著、川端康成／訳、野上彰／訳
角川書店

おすすめコメント

裕福な家庭で何不自由なく育ったセーラ。父の死をきっかけに境遇が一変し、過酷ないじめに遭うも持ち前の想像力と品格で力強く生きる姿が胸を打ちます。
(平塚市の図書館にあります。西図書館)

○「星の王子さま」

アントワーヌ・ド・サン・テグジュペリ／著、内藤濯／訳
岩波書店

おすすめコメント

『たいせつなことは目にみえない』あなたはそのままでもいいんだよ、っていうことを教えてくれる本。子どもの頃に読んで読んでみませんか?
(平塚市の図書館にあります。中央、北、西、南図書館)

3月のおすすめ本

○「やまをとぶ」

きくち ちき／文と絵

岩波書店

おすすめコメント

文が詩の様で広がりがあり生き物が生き生きと描かれ、暖かな命を感じます。

(平塚市の図書館にあります。中央図書館)

○「ワシとミンサザイ」

ジェーン・グドール／著、アレキサンダー・ライヒシュタイン／画、百々 佑利子／訳

さえら書房

おすすめコメント

動物行動学者のグドールが、幼い頃父親に繰り返し聞いたスコットランドの昔話。鳥達が、一番高く飛べるのはだれか競い合い…。作者のあたたかいまなざしが、美しい絵と共に心に残ります。

(平塚市の図書館にあります。中央図書館)